

## 感染症患者発生情報（週報）

## 埼玉県内情報 2024 年 第 39 週（9 月 23 日～9 月 29 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 細菌性赤痢	1 人 類型 患者 病原体 <i>S. sonnei</i> 推定感染地域 国内
腸管出血性大腸菌感染症	2 人 類型 患者 2 人 血清型 O157 2 人
四類感染症 デング熱	1 人 推定感染地域 インド
レジオネラ症	4 人 病型 肺炎型 4 人
レプトスピラ症	1 人 推定感染地域 国内
五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1 人 菌種 <i>Enterobacter</i> sp.
侵襲性肺炎球菌感染症	1 人
水痘（入院例）	1 人 病型 臨床診断例
梅毒	8 人 病型 早期顕症Ⅰ期 5 人、 早期顕症Ⅱ期 1 人、 無症状病原体保有者 2 人
百日咳	4 人 年齢階級 10 歳代 2 人、50 歳代 1 人、 60 歳代 1 人

## &lt; 定点把握対象疾患の患者情報 &gt;

新型コロナウイルス感染症（5.49→4.79：図 1-1, 2）の定点当たり報告数は、前週と比較してわずかに減少した。保健所別では、引き続き幸手（8.64）保健所管内からの報告が多く、春日部（7.60）保健所管内からの報告も多い。基幹定点における入院患者の報告は 34 人（前週 31 人）であり、年齢階級別では、65 歳以上が全体の約 85% となっている。基幹定点報告疾患の一つであるマイコプラズマ肺炎（図 2）は、51 人（前週 30 人）の報告があり、前週と比較して大きく増加した。年齢階級別で見ると、14 歳以下の患者が全体の約 94% となっている。定点当たり報告数 4.25 は、過去 10 年で最も高い水準となった第 37 週（3.83）をさらに上回っており、今後の動向に注意が必要である。手足口病（8.70\*→10.38：図 3-1, 2, 3）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。県内全保健所管内で前週の値を上回り、保健所別では本庄（15.50）、川口市（14.77）、川越市（14.00）保健所管内からの報告が多い。また、年齢階級別にみると、今夏の流行のピークとなった第 28 週前後と比較して、6 歳以上の報告も多くなっている。伝染性紅斑（0.38→0.47）の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。保健所別では、引き続き南部（3.60）保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告疾患では、流行性角結膜炎 29 人の報告があった。マイコプラズマ肺炎を除く基幹定点報告疾患では、無菌性髄膜炎 2 人の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ（URL：<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-ids.html>）で御覧になれます。

\* 遅れ報告・修正報告を反映した値を掲載

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第39週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1-1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

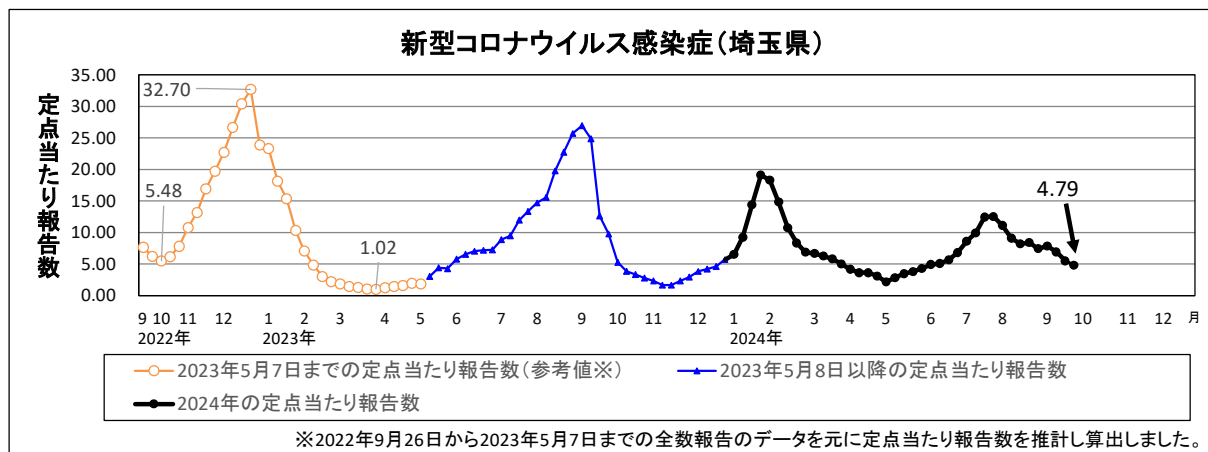
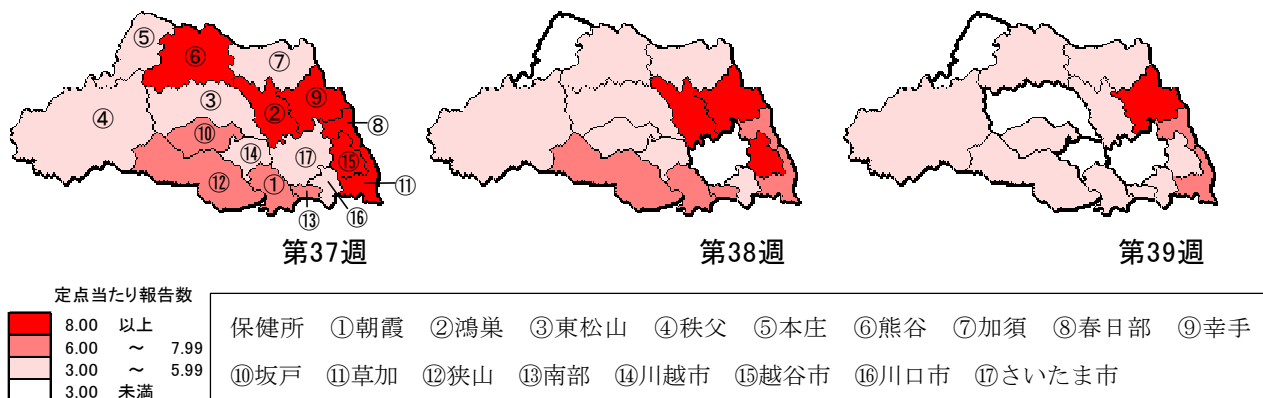


図1-2 新型コロナウイルス感染症の保健所別流行状況の推移（2024年第37週～第39週）



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2 マイコプラズマ肺炎の報告数の推移

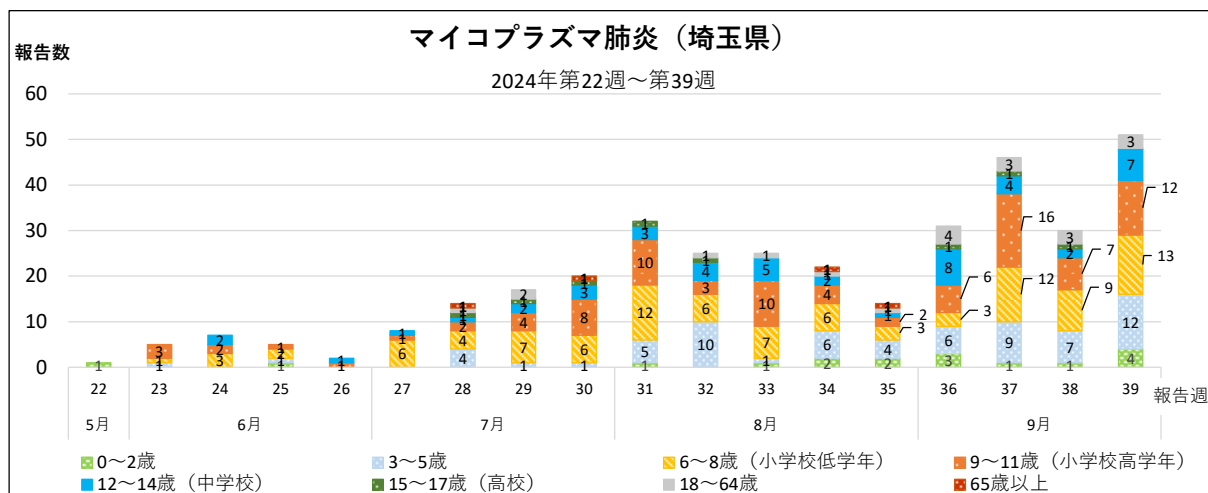


図 3-1 手足口病の定点当たり報告数の推移

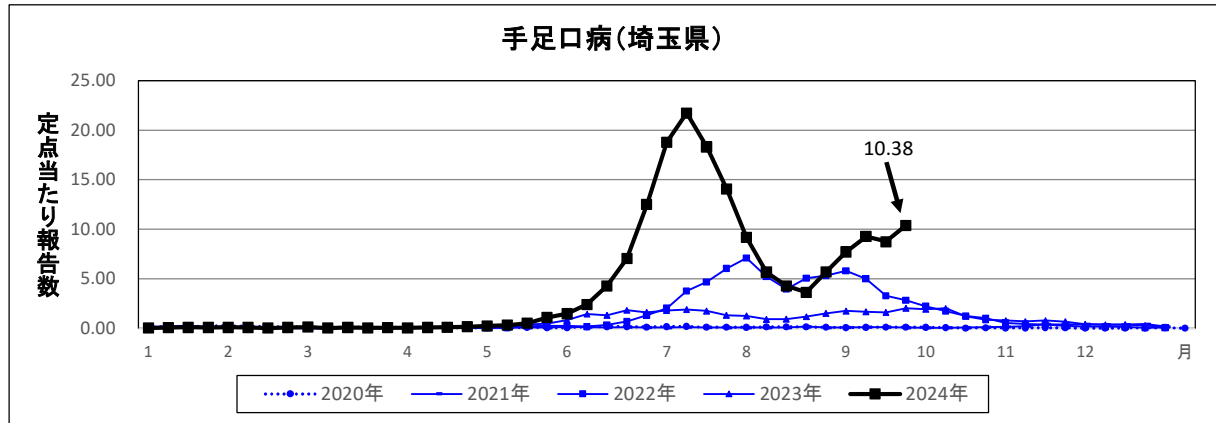


図 3-2 手足口病の保健所別流行状況の推移 (2024年第37週~第39週)

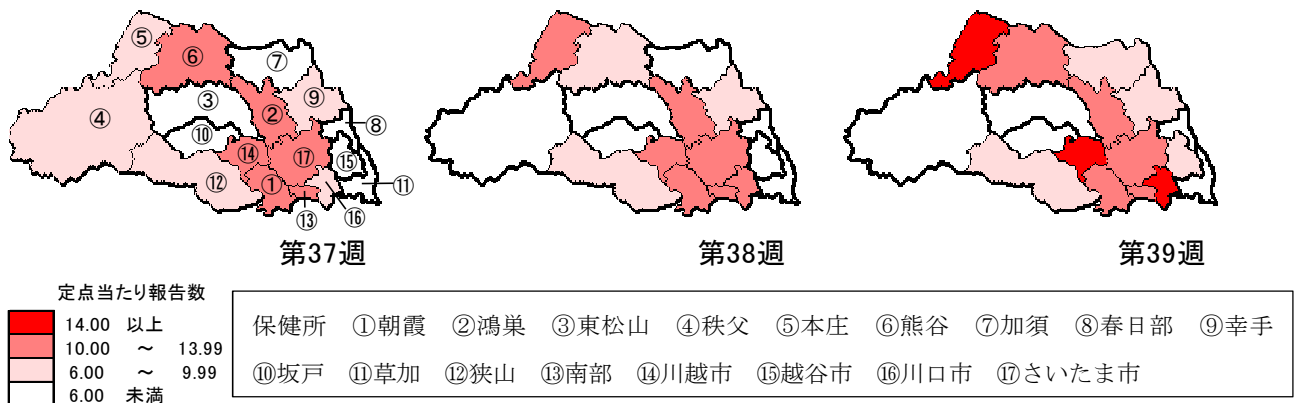
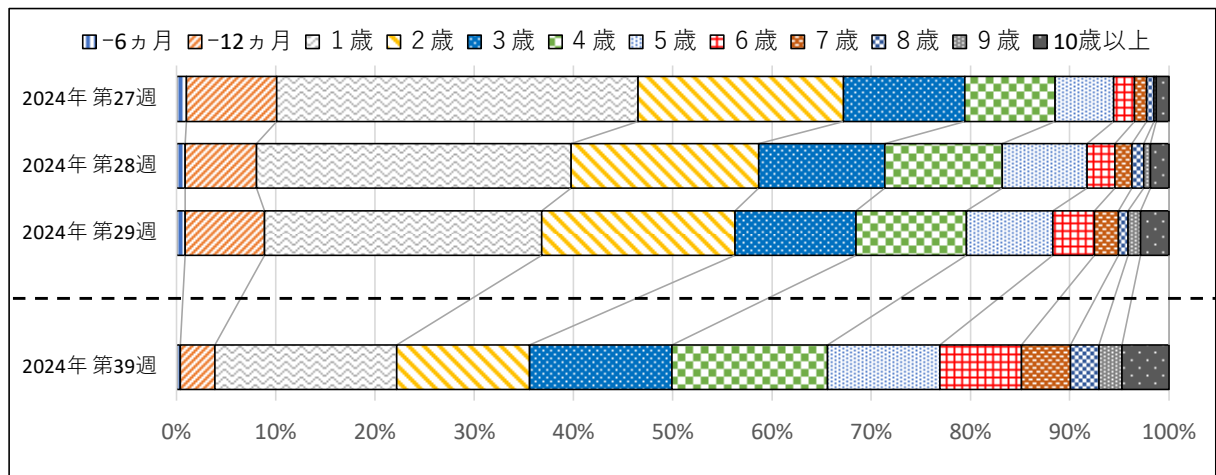


図 3-3 手足口病の年齢階級別報告割合の推移 (2024年第27週~第29週及び第39週)



感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第39週)

(2024年10月1日 16:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
<b>一類感染症</b>					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
<b>二類感染症</b>					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
<b>三類感染症</b>					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢	1	2	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	2	125			
<b>四類感染症</b>					
E型肝炎		31	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		4	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		1
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		1
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		3
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		1
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		1
チクングニア熱			レジオネラ症	4	93
つつが虫病			レプトスピラ症	1	1
デング熱	1	11	ロッキー山紅斑熱		
<b>五類感染症</b>					
アメーバ赤痢		17	侵襲性肺炎球菌感染症	1	70
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		11	水痘(入院例に限る)	1	3
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	77	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		1	梅毒	8	334
急性脳炎		19	播種性クリプトコックス症		7
クリプトスポリジウム症			破傷風		2
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		94	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		24	百日咳	4	87
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症		17	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1

累計は診断日で集計

\*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第39週

9月23日~9月29日)

保 健 所	報告数	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス感染症 (入院)
		#1																				
全 県	報告数	104	1,251	43	54	343	434	23	1,703	77	43	83	15	-	29	-	2	51	-	-	-	34
	定点当たり	0.40	4.79	0.26	0.33	2.09	2.65	0.14	10.38	0.47	0.26	0.51	0.09	-	0.69	-	0.17	4.25	-	-	-	2.83
朝 霞	報告数	19	110	1	2	33	34	1	177	12	5	4	2	-	5	-	-	8	-	-	-	7
	定点当たり	0.83	4.78	0.07	0.13	2.20	2.27	0.07	11.80	0.80	0.33	0.27	0.13	-	1.25	-	-	8.00	-	-	-	7.00
鴻 巣	報告数	5	113	2	2	31	26	2	152	3	5	1	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.26	5.95	0.17	0.17	2.58	2.17	0.17	12.67	0.25	0.42	0.08	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数	-	20	-	1	5	15	-	27	1	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	-	2.50	-	0.20	1.00	3.00	-	5.40	0.20	0.40	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
秩 父	報告数	-	15	-	-	-	-	-	15	-	-	2	-	*	*	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	-	3.00	-	-	-	-	-	5.00	-	-	0.67	-	*	*	-	-	-	-	-	-	1.00
本 庄	報告数	-	19	1	-	-	-	-	62	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	2.71	0.25	-	-	-	-	15.50	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊 谷	報告数	7	73	1	6	13	26	-	80	-	2	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	6
	定点当たり	0.54	5.62	0.13	0.75	1.63	3.25	-	10.00	-	0.25	0.38	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	6.00
加 須	報告数	1	55	1	2	5	-	-	37	1	1	1	-	-	3	-	-	3	-	-	-	-
	定点当たり	0.10	5.50	0.17	0.33	0.83	-	-	6.17	0.17	0.17	0.17	-	-	3.00	-	-	3.00	-	-	-	-
春 日 部	報告数	9	76	6	2	27	15	-	30	1	3	9	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.90	7.60	1.00	0.33	4.50	2.50	-	5.00	0.17	0.50	1.50	0.17	-	-	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数	16	121	3	8	44	12	2	66	3	3	8	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	1.14	8.64	0.33	0.89	4.89	1.33	0.22	7.33	0.33	0.33	0.89	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数	1	59	1	-	4	20	-	34	2	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	定点当たり	0.10	5.90	0.17	-	0.67	3.33	-	5.67	0.33	0.17	0.17	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00
草 加	報告数	15	115	3	1	17	40	2	63	-	-	4	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.79	6.05	0.25	0.08	1.42	3.33	0.17	5.25	-	-	0.33	0.08	-	-	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数	10	149	1	5	52	28	-	151	1	4	6	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.40	5.96	0.06	0.31	3.25	1.75	-	9.44	0.06	0.25	0.38	0.06	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-
南 部	報告数	7	30	10	1	25	33	-	66	18	-	12	-	-	1	-	-	7	-	-	-	4
	定点当たり	0.88	3.75	2.00	0.20	5.00	6.60	-	13.20	3.60	-	2.40	-	-	1.00	-	-	7.00	-	-	-	4.00
川 越 市	報告数	2	40	2	10	21	6	2	112	2	3	6	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.14	2.86	0.25	1.25	2.63	0.75	0.25	14.00	0.25	0.38	0.75	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数	6	71	-	1	9	27	-	65	2	2	5	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-
	定点当たり	0.46	5.46	-	0.13	1.13	3.38	-	8.13	0.25	0.25	0.63	-	-	-	-	-	16.00	-	-	-	-
川 口 市	報告数	3	84	5	8	26	80	8	192	13	1	9	2	-	2	-	-	5	-	-	-	4
	定点当たり	0.15	4.20	0.38	0.62	2.00	6.15	0.62	14.77	1.00	0.08	0.69	0.15	-	0.50	-	-	5.00	-	-	-	4.00
さいたま市	報告数	3	101	6	5	31	72	6	374	18	11	10	5	-	12	-	2	12	-	-	-	7
	定点当たり	0.07	2.35	0.21	0.18	1.11	2.57	0.21	13.36	0.64	0.39	0.36	0.18	-	1.33	-	2.00	12.00	-	-	-	7.00

( - : 0.00 ) #1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

10月 1日 15:30 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2024年第39週 9月23日～9月29日)

	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ #1	104	1	-	1	1	1	4	9	1	4	10	4	19	8	7	8	8	9	6	1	2	
新型コロナウイルス感染症	1,251	10	12	22	23	11	12	9	12	7	10	23	135	74	112	125	141	174	102	148	89	
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～							
RSウイルス感染症	43	11	9	10	8	2	1	-	-	-	-	-	1	-	1							
咽頭結膜熱	54	-	2	11	10	13	6	4	3	-	2	-	3	-	-							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	343	-	-	7	17	23	37	36	35	37	28	24	70	8	21							
感染性胃腸炎	434	4	24	58	38	39	36	37	32	34	23	21	58	7	23							
水痘	23	-	-	2	1	1	3	2	4	2	2	-	5	1	-							
手足口病	1,703	7	59	312	228	244	267	193	140	84	49	39	62	11	8							
伝染性紅斑	77	-	-	-	6	13	18	12	10	4	7	4	3	-	-							
突発性発しん	43	-	3	32	6	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ	83	2	10	19	13	15	7	7	2	4	1	-	2	-	1							
流行性耳下腺炎	15	-	-	1	-	1	3	3	2	3	1	1	-	-	-							
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～		
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	29	-	-	1	1	2	1	1	1	-	1	-	1	-	3	7	4	2	3	1		
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～					
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
無菌性髄膜炎	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
マイコプラズマ肺炎	51	-	12	23	13	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-					
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
インフルエンザ(入院)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
新型コロナウイルス感染症(入院)	34	1	1	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	3	26					

※ 表中の数値は各定点からの報告数( - : 0 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報

第37週 (9月9日～9月15日)

令和6年10月2日

## <全国情報>

**インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患:**インフルエンザの定点当たり報告数は第34週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(16.52)、福井県(0.77)、岐阜県(0.70)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は53例と前週と比較して増加した。都道府県別では16都道府県から報告があり、年齢別では0歳(2例)、1～9歳(14例)、10代(4例)、20代(1例)、30代(1例)、40代(3例)、50代(2例)、60代(2例)、70代(7例)、80歳以上(17例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は宮城県(10.80)、岩手県(10.11)、山形県(9.93)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,838例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(31例)、1～9歳(49例)、10代(27例)、20代(21例)、30代(22例)、40代(44例)、50代(112例)、60代(190例)、70代(461例)、80歳以上(881例)であった。

**小児科定点報告疾患(主なもの):**RSウイルス感染症の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は山形県(3.93)、宮城県(1.53)、新潟県(1.44)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は新潟県(1.18)、群馬県(0.77)、鹿児島県(0.75)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第34週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(6.05)、茨城県(4.95)、福岡県(4.28)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別の上位3位は大分県(7.11)、福井県(6.32)、石川県(5.14)である。手足口病の定点当たり報告数は第34週以降増加が続いており、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は富山県(21.41)、宮城県(15.27)、愛媛県(15.08)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は第34週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は東京都(0.98)、青森県(0.73)、神奈川県(0.72)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は宮城県(2.64)、山形県(2.61)、鹿児島県(2.04)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別の上位3位は大分県(0.17)、宮城県(0.16)、山形県(0.11)である。

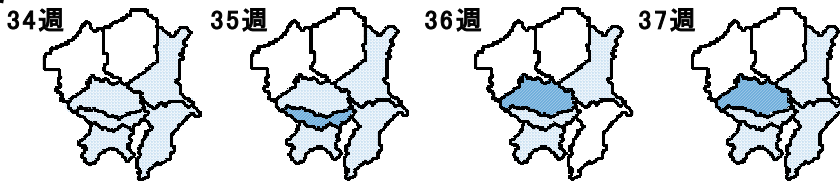
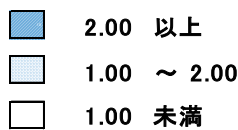
**基幹定点報告疾患:**マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は埼玉県(3.83)、福井県(3.17)、京都府(2.86)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。4都道府県から6例報告があり、年齢別では0歳(1例)、1～4歳(1例)、5～9歳(3例)、20代(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年 第37週(9月9日～9月15日):通巻第26巻 第37号 より

## <関東情報>

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は、埼玉県(3.83)からの報告が多い。

### マイコプラズマ肺炎



2024年 37週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数 2,520 定点当たり 0.51	753 0.50	60 0.50	15 0.20	5 0.06	143 0.55	108 0.55	201 0.48	221 0.63
新型コロナウイルス感染症	報告数 25,985 定点当たり 5.28	9,028 5.99	900 7.50	590 7.97	508 5.98	1,805 6.92	1,512 7.75	1,842 4.41	1,871 5.30
RSウイルス感染症	報告数 1,869 定点当たり 0.60	255 0.27	25 0.33	26 0.57	17 0.32	64 0.39	21 0.17	63 0.24	39 0.17
咽頭結膜熱	報告数 923 定点当たり 0.29	223 0.24	27 0.36	4 0.09	41 0.77	51 0.31	20 0.16	56 0.21	24 0.11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 6,500 定点当たり 2.08	2,017 2.13	371 4.95	64 1.39	67 1.26	364 2.22	352 2.86	463 1.76	336 1.50
感染性胃腸炎	報告数 8,990 定点当たり 2.87	2,976 3.14	178 2.37	56 1.22	215 4.06	607 3.70	496 4.03	834 3.17	590 2.63
水痘	報告数 403 定点当たり 0.13	122 0.13	5 0.07	7 0.15	3 0.06	22 0.13	18 0.15	41 0.16	26 0.12
手足口病	報告数 25,143 定点当たり 8.03	8,287 8.74	405 5.40	307 6.67	278 5.25	1,521 9.27	961 7.81	2,394 9.10	2,421 10.81
伝染性紅斑	報告数 667 定点当たり 0.21	550 0.58	5 0.07	7 0.15	4 0.08	78 0.48	35 0.28	259 0.98	162 0.72
突発性発しん	報告数 865 定点当たり 0.28	260 0.27	12 0.16	20 0.43	16 0.30	56 0.34	30 0.24	79 0.30	47 0.21
ヘルパンギーナ	報告数 2,249 定点当たり 0.72	708 0.75	51 0.68	21 0.46	44 0.83	125 0.76	108 0.88	198 0.75	161 0.72
流行性耳下腺炎	報告数 136 定点当たり 0.04	61 0.06	5 0.07	-	5 0.09	13 0.08	10 0.08	17 0.06	11 0.05
急性出血性結膜炎	報告数 8 定点当たり 0.01	4 0.02	-	-	-	1 0.02	-	-	3 0.06
流行性角結膜炎	報告数 315 定点当たり 0.45	135 0.65	11 0.65	8 0.67	3 0.21	34 0.81	18 0.51	16 0.41	45 0.94
細菌性髄膜炎 #2	報告数 15 定点当たり 0.03	5 0.06	-	-	-	-	-	4 0.16	1 0.08
無菌性髄膜炎	報告数 25 定点当たり 0.05	10 0.11	2 0.15	-	-	1 0.08	1 0.11	4 0.16	2 0.17
マイコプラズマ肺炎	報告数 675 定点当たり 1.41	150 1.72	24 1.85	4 0.57	6 0.67	46 3.83	11 1.22	41 1.64	18 1.50
クラミジア肺炎 #3	報告数 - 定点当たり -	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数 6 定点当たり 0.01	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

感染症発生動向調査  
2024年

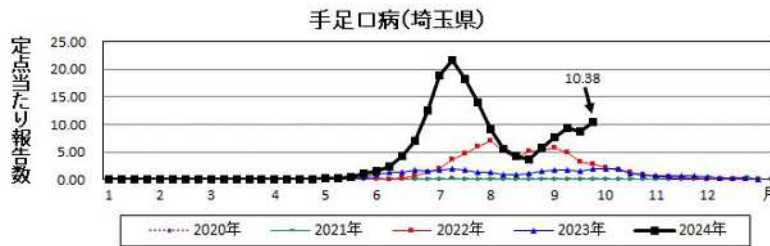
- ▶ [感染症の流行状況 2024年第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年第15週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年第16週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年第17週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年第18週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年第19週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年第20週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年第21週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年第22週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年第23週](#)

## 感染症の流行状況 2024年 第39週

2024年第39週（9月23日～9月29日）の要点

[手足口病](#)の定点当たり報告数は、前週と比較して増加しました。

[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	→	★	<a href="#">手足口病</a>	↑	★★★
<a href="#">新型コロナウイルス感染症</a>	↓	—	<a href="#">伝染性紅斑（りんご病）</a>	→	★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	→	★	<a href="#">突発性発疹</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱（プール熱）</a>	→	★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	↓	★★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	→	★	<a href="#">流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）</a>	→	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	↓	★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	→	★
<a href="#">水痘（みずぼうそう）</a>	→	★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	→	★

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）\*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい→★、★★、★★★→大きい）

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

また、全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。



埼玉県のマスコット コバトン